

# 伊方町報

発行所  
伊方町  
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦  
〒796-03 伊方局38-0211  
編集所  
町長公室  
印刷所  
豊豫社  
八幡浜市松柏 22-0144



自宅で気軽に利用できる入浴サービス



移動入浴車

## 浴槽を自宅まで 訪問入浴サービス始まる

①当日の朝、センターから、週間計画で定められた利用者者の自宅に、電話で体温や体調などの健康チェックが行われます。

②確認が終わると、午後2時頃に自宅へ到着します。

③再度、看護職員による健康チェックが行われます。

④確認が終わると、浴槽が自宅へ運び込まれ組み立てられます。

⑤組み立てられた浴槽の中に、

老人デイサービスセンターが運営を始めて約9ヶ月。町では、7月の送迎バスの購入に引き続き、この度、センターまで通うことが困難なお年寄りの皆さん方のために、「センターと同じような入浴サービスが受けられるように」と、入浴車の購入を行いました。

自宅まで、「寝たまま入浴できる浴槽」を運び込み、その浴槽を使って入浴していただくというものです。

### 訪問入浴サービスの1日

入浴サービスを希望される皆さんは、お気軽に各地区の民生委員さんに相談の上、登録申請の手続きを行ってください。申請書は、各地区の民生委員さん宅か、役場福祉課にあります。

現在の登録者は13人で、利用日は、毎日1人の祭日を除く火・水・木曜日の週3回で行っています。

今後、希望者の割合に応じて、利用日等を調整していくことにしています。

### 相談は民生委員さんへ

⑦入浴時は、看護職員により、入浴者の健康チェックが絶えず行われています。

⑧センターの看護職員を中心に、ホームヘルパー、運転手、家族やボランティアの皆さんの協力を得て入浴サービスの開始です。

今年4月に開所した伊方町老人デイサービスセンターで、11月17日から訪問入浴サービスを開始しました。

在宅福祉サービスの一貫として、お年寄りの皆さんに、いつまでも住み慣れた家庭で明るい生活を送っていただくこととセンター建設時から計画していたものです。

寝たきりなどで家庭で入浴することができないおじいちゃん、おばあちゃん。デイサービスセンターの訪問入浴サービスを利用してみませんか。

入浴車で沸かしたお湯を入れると準備完了。

(入浴車が入らないところは、家庭で沸かしたお湯が利用されます。)

⑥センターの看護職員を中心に、ホームヘルパー、運転手、家族やボランティアの皆さんの協力を得て入浴サービスの開始です。

### 人がいて

- 夢がわき
- 流れが変わり
- 新しい町が
- つくられる

### 今月の紙面

二面：93年町のできごと  
あんなこと、こんなこと  
三面：声かけて手をさしのべてさあ行こう  
お互いが人権を尊重しあい明るい町に  
消防とくらし  
四面：年の暮れ・心にカギをしっかりと  
年末の犯罪と事故防止  
歳時記「たこあげ」

## 年末年始の役場業務 次の要領で行います

12月29日から1月3日までの7日間は、年末年始につき、役場業務を休ませていただきます。

ただし、ゴミ収集業務や戸籍の一部受付は次の要領で行いますので申し出てください。

### 戸籍の届出

戸籍や住民票、印鑑証明書などの交付業務は休ませていただきます。

ただし、死亡届や出生届など、戸籍の届出業務については休日直者が受付を行います。

役場または町見支所へ申し出てください。

### ゴミの収集

年末のゴミ収集は12月30日(木)まで行います。31日から1月3日まででは休みますので、ゴミを出さないようにご協力ください。

なお、12月30日、1月4日は町内全域の収集を行います。5日からは各家庭に配布している計画表に基づいて行います。

### 急病のとき

急病などで医師の診断を受けたいときは、まず、係つけの医師にご相談ください。

八幡浜市立病院に開設されている急患センターは、12月31日と1月2日が当番になっています。

町営の九町診療所は12月28日の午後から1月3日まで休診、4日は午前中の診療、5日からは平常どおりとなっています。

救急車(局番なしの119番)は休みなしですが、正しい利用をお願いします。

### 水道の故障

メーターからの家庭内の故障修理については、個人の管理とさせていただきます。故障の際には、左記の水道公認業者に連絡して修理を行ってください。

なお、給水管の故障や断水などについては、役場まで連絡してください。

これからの寒い時期、水道管やメーターなどの管理を忘れずに。

### 消防団の夜警

消防団による年末夜警は12月26日から30日まで行われます。

寒くなり暖房器具を使う機会が多くなりますが、利用する際には、灯油やガソリンなどの取扱いに十分注意してください。

月日	収集時間	収集地区
12月30日	6:30~7:30	伊方地区全域
	12:00~13:00	町見地区全域
12月31日から1月3日までは、ゴミ収集を休ませていただきます。		
1月4日	6:30~7:30	伊方地区全域
	12:00~13:00	町見地区全域

業者名	電話	住所
伊方電気工事(有)	38-0636	小中浦
福田水道工事店	38-0928	川永田
大通水道	38-0568	小中浦
井田工業	39-0500	畑
山岡建設	39-0235	田之浦
大通鉄工所(有)	38-1567	湊浦
コウノ水道(有)	38-2110	河内

- 1月11日 地域振興センターで出来上がった酒造りのもと(酵母)が伊方杜氏の勤める醸造場に初出荷
- 15日 成人式を挙行、新成人68人が大人の仲間入り
- 2月18日 伊方町を含む2市14町村で構成する八幡浜大洲広域市町村圏が、国の地方拠点都市地域に指定される(7月8日に基本計画が承認される)
- 3月7日 町消防団恒例の出初め式、335人が参加して伊方中グラウンドで開催
- 12日 議長に吉川治吉氏・副議長に高月初彦氏が就任
- 17日 94人(伊方中64人・町見中31人)が3年間の思い出を胸に卒業式
- 24日 四国清酒鑑評会で伊方杜氏の醸造酒7点が入賞
- 29日 温泉調査はじまる
- 30日 総合落成式を挙行(老人デイサービスセンター、沖の城団地、学校給食センター、九町小体育館)役場業務が毎週土曜日が休みに・休日に窓口業務サービスコーナーを開設
- 4月1日 ボランティア伊方(209人)が発足
- 13日 第43回自醸酒品評会で“日本心”(上田益男さん)が優等1位
- 15日 高齢者対策としての老人デイサービスセンターが開所(1日の定員は25人)
- 19日 “ほかしのもと”を使用した生ゴミ処理方法の試作研究を開始
- 5月1日 伊方ライオンズクラブが町に車イスを寄贈
- 16日 町内保育所園児ら650人が集まり、町見体育館で伊方っ子まつり開催
- 22日 畑かん事業で、川永田地区(第8ブロック)完成、6月10日には湊浦地区(第3ブロック)、9月10日には町見地区(第1ブロック)が相次いで完成
- 25日 元教育長、井櫻政勇氏が勲5等瑞宝章を授賞
- 6月11日 “伊方町スポレク祭'93”が開催される
- 27日 室鼻プール開き(8月末までに約1万人が利用)
- 7月1日 老人デイサービスセンターに専用バスを配備
- 5日 衆議院議員総選挙、投票率は79.45パーセント
- 18日 “きなはいや伊方まつり”が開催される
- 25日 向地区墓地移転・九町中道線の整備工事始まる
- 29日 町消防操法大会が伊方中グラウンドで開催され、自動車ポンプの部で第5分団(湊浦)が3連覇
- 8月1日 小型動力ポンプの部は第13分団(向)が優勝
- 5日 町の特産品の展示販売や観光客に対するサービス向上を目的に観光物産センターの建設に着手
- 6日 第7回全日本小学生ソフトボール選手権大会に伊方小スポーツ少年団が出場
- 10日 台風7号の襲来で、柑橘園や漁港施設等に大きな被害
- 11日 二見小学校体育館の建設工事に着手

# '93町めでできごと

## あんなこと こんなこと

### 今年1年間を振り返ってみました

今年もはや12月を迎え、残すところ後わずかになりました。皆さんのご家庭でのこの1年間はどうだったでしょうか。本町においてもいろいろな出来事や話題がありました。

4月には、高齢化社会に対応するための老人デイサービスセンターの運営を開始しました。8月には、町内物産品の展示販売や観光サービスを行うための観光物産センターの建設に着手、更に、9月には九町小学校プール改築やグラウンド拡張整備工事も着手しました。

また、10月には柑橘園などの荒廃園や遊休農地を無くすために農地利用推進委員会を設置し、その実態調査を行うことになりました。

1年間の締めくくりの月にあたり、町の話題や出来事を月毎に振り返ってみました。

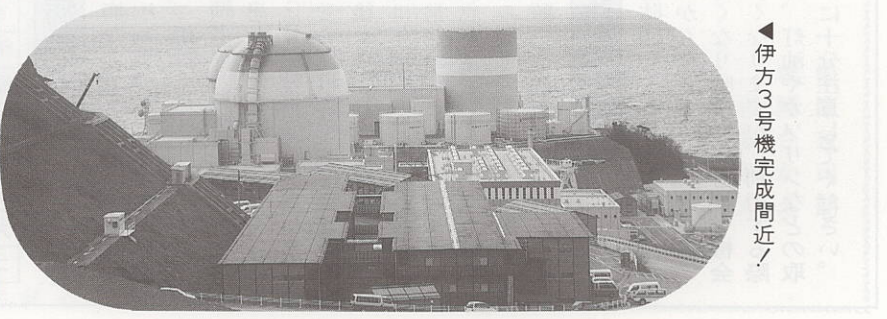


▲観光物産センターの建設はじまる  
老人デイサービスセンターの運営開始▼

- 9月1日 町営の九町診療所に戸出二郎医師が赴任
- 11日 デイサービスセンターツアー設置工事始まる
- 11日 第15回愛媛未来をひらく少年の主張大会で伊方中3年米田亜佳音さんが優良賞を授賞
- 15日 各地区で敬老会が開催される(町内の64歳以上のお年寄りは1754人に)
- 24日 伊方3号機用の新燃料80体が初めて搬入される(11月11日には82体を搬入)
- 28日 教育委員会委員に竹場淳氏(二見)が就任
- 10月1日 伊方町農協、町見農協を含む八西地区併せて15農協が合併し、西宇和農協が発足
- 6日 九町小学校のプール改築とグラウンド拡張整備工事はじまる
- 10日 町民運動会が町見中グラウンドと伊方中グラウンドで盛大に開催される
- 23日 第13回障害者と健常者のつどいが町見体育館で開催される
- 11月3日 伊方・町見両地区の文化祭に約2000人
- 15日 伊方郵便局が役場横に移転
- 17日 老人デイサービスセンターで訪問入浴サービス始まる
- 18日 町民グラウンド敷地造成工事に着手



▶九町小のプール改築、グラウンド整備はじまる



◀伊方3号機完成間近

### 悪徳商法の防止

## うまい話にご用心

情報化、サービス化、高齢化などといった社会環境の変化を反映して、近年、悪徳商法による被害が数多く発生しています。

これから年末を迎え、悪質な訪問販売が出回ることが予想されます。うまい話には、必ずウラがあると、いうことを忘れず、甘い言葉に乗らないよう十分気をつけましょう。

### 骨髄バンク登録にご協力を

#### 尊い命を救えるのはあなた

白血病、重症再生不良性貧血等の難病は、以前から有効な治療法が見つからなく治りにくい病気とされてきました。

しかし、現在では、骨髄移植という治療法でこれらの病気で苦しむ患者さんが健康を取り戻せるようになりました。

難病と闘っている尊い命を救えるのはあなたなのです。骨髄バンクの登録にご理解とご協力をお願いします。

詳しい資料を必要の方は、松山市一番町4丁目4-2 愛媛県保健環境部業務課(TEL:0899-41-2111)までお問い合わせください。

# 声かけて手をさしのべてさあ行く

## 《お互いが人権を尊重しあい明るい町に》

12月4日から12月10日までの1週間は人権週間です。みなさん、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、困りごとや心配ごとなどはありませんか。

町内においては、人権に対する意識を高めるために、小学生による人権パレードや小・中学生から募集していた人権標語や作文等の入選作品に対する表彰式を行いました。



人権とは、私たちがそれぞれに幸福な生活を営むために必要な固有の権利、世界人権宣言では、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である」と定められています。

ところが、現実には、他人の立場を考慮することなく、自分の権利だけを主張したり、また、勝手に行動をしたりする人がいるために、人権に関する数多くの事件が発生しています。

町では、人権に対する意識を高めるため、人権週間にちなんでパレードが行われたほか、人権に対する作文や標語、ポスターなどを募集し、12月

7日には募集した人権作文や標語など、入選作品に対する表彰式が行われました。今年、作文の部で20点、標語の部で73点、ポスターの部で121点、毛筆・硬筆の部で133点の応募があり、この中から入選作品131点に表彰状等が授与されました。上位に入賞された方は次のとおりです。

- 松山地方務局長賞  
作文 野田晋吾(町見中)
- 愛媛県人権擁護委員  
連合会長賞  
作文 成木郁恵(町見中)
- 八幡浜人権擁護委員  
協議会長賞  
作文 武田幸子(伊方中) 稲月千恵(伊方中)
- 伊方町長賞  
作文 河野愛加(伊方中) 標語 井関 礼(有寿来小) ポスター 井上福泰(豊之浦小)
- 伊方町教育委員賞  
作文 宮崎乃梨子(水ヶ浦小) 硬筆 井関 礼(有寿来小)
- 伊方町人権擁護推進協議会長賞  
作文 久保さゆり(伊方中) 標語 大山 徹(九町小) ポスター 中藤夕記子(水ヶ浦小) 清家千東(有寿来小) 大沼圭一(有寿来小) 門田智代(伊方中) 毛筆 大地沙織(伊方小) 硬筆 竹内明菜(豊之浦小)
- 人権擁護委員  
伊方部会長賞  
作文 松岡篤史(伊方中) 標語 宮本真吾(有寿来小) ポスター 兵頭泰昭(有寿来小) 山本和香(水ヶ浦小) 渡辺繁樹(九町小)
- 伊方町協議会長賞  
作文 中川敬子(伊方中) 井上咲子(町見中) 標語 三好里奈(豊之浦小) ポスター 徳田祥典(伊方小) 明神加奈恵(水ヶ浦小) 井関 礼(有寿来小) 竹場智美(町見中) 毛筆 河野吉泰(豊之浦小) 硬筆 徳田祥典(伊方小)

# ふるさと ウオッチング⑤

取材先 川永田 補作 岡村豊

海はいいなあ。いつきても古里の海の静けさよ。波静かな海に点在する島々の美しさには魅了されます。昔はのう魚がよつとれたそうじゃ。

## 住吉神社と古事記の魚

### 住吉神社と古事記の魚

あの室ノ鼻にのう住吉神社境内恵美須神社があつての、共に漁業の神様で戦前までは、漁師をはじめ村人たちが集まり、神事のおと賑やかに相撲なども行われたとつたのせ。今では小祠に変わり、周りの木々も生き絶え絶えで、鳥居も倒れて、奉納昭和十年三月吉日とあり、一部はそこらに埋まっつらい、いつて見なはいや。漁獲が自然に左右される

漁民は信仰心が厚く、それだけに祭りや漁事祈願は大切な行事じゃつたのせ。ところで、海幸彦・山幸彦の話聞いたことがあるかな。八重立つ雲を押し分けて、高千穂の峰に降臨した邇邇芸命の御子に、火照命、火須勢理命、火遠理命の三神があつたのです。このうち、火照命が海佐知

彦(海幸彦)として漁をし、弟の火遠理命、またの名を天日高日子穗穗出命が山佐知彦(山幸彦)として鳥獣狩りをしていた。海に憧れた火遠理命が火照命に三度も頼んで釣り道具を借ったそうじゃ。火遠理命は海に出て釣りを試みたが一匹も釣れない。その

海辺で思案しているところへ現われた塩椎神が、「綿津見の宮へ行って相談しなさい」と籠の小舟に乗せて送り出してくれたそうじゃ。

火遠理命は、綿津見の宮に三年おつて、海神の娘、豊玉比売と結婚する。海中の魚を全部集めて調べた結果、鯛の喉に刺さっていた針を見つけ

出した。その釣り針と、潮満珠・潮干珠をもらい、「尋ワニに送られて帰る話は、浦島伝説に似たりがな。しかし、確かなことは、その頃の釣り針が金属製であつたことよ。長剣を潰して代替品を差し出したとある所が証明しようがな。



木、石、貝、動物の骨や角など進歩してきた釣り針に、金属製が加わつたのは古墳時代といわれるが、青銅から鉄針になつたのはいつの頃じゃろうか。淡路島の沖ノ島古墳から千三百年前の鉄針が出土している。岡山県の高蔵山古墳、京都の大塚山古墳などからも鉄針が見つかった。なお、火遠理命を送つたという「尋ワニ」じゃが、一尋(長さ、約六尺一・八米)では、鰐鮫にしては小さすぎるし、海神から「海中を渡る」とき恐らせ申すな」と念を押されているあたりは凶暴性がある。正体は不明だが、このワニは佐比持神の名があるがと、瀬戸内や宇和海の美しい海も、数年前のサメ騒動は漁民を震え上がらせたが、漁師は、いまでも「古事記の魚」を釣っていることには間違いないわいのう。

# 消防とくらし

毎月1日は防災点検日です。火災等の被害に遭わないように！伊方町消防団では、12月1日を防火デー、また、毎月1日を防災点検日と定めて火災の撲滅運動を実施しています。これから、暖房器具などの使用で火を取り扱う機会が多くなります。また、この時期はちょうど空気が乾燥しているために火災の起こりやすい季節です。皆さん、一人ひとりが防火に心がけ、火災を起こさないように気をつけましょう。

## 火災防止呼びかけ 町内パレード



12月1日、防火デーにあわせて、伊方町消防団による防火パレードが行われました。

地域振興センター前に分けて各分団に配備している小型動力ポンプ積載車を出発。町内をまわり、町民の皆さんに火災などの災害防止を呼びかけました。

皆さんの家庭などの火のもとは大丈夫でしょうか。火災は、ちょっとした不注意で起こります。家庭の財産を奪い去ってしまうだけではありません。時には、尊い人命まで奪い去ってしまう火災。火の取り扱いには、くれぐれも注意して、年末年始は基より日頃から火災の防止に努めてください。

**火の用心。ここがポイント**

火災の発生や被害を最小限に食い止めるために、次の点に注意しましょう。

- 1 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 2 子供にマッチやライターで遊ばせない。
- 3 風の強いときは、たき火をしない。
- 4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 5 家のまわりに燃えやすい物を置かない。
- 6 ふろの空だきをしない。
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。
- 8 寝る前に、必ず火の元を確かめる。
- 9 お年寄りの部屋は、できるだけ1階にする。
- 10 消火の備えを万全にする。

### 年末の犯罪と事故防止

## 年の暮れ・心にカギをしつかりと

本年もいよいよ年の瀬を迎える頃となりました。

例年この時期には、とくに犯罪に対する警戒心がおそろそかになりがちで、暴力の被害や、ひったくり、スリ、車両狙いなどの被害に遭うことが多くなります。

このため、警察や防犯協会などでは、犯罪や事故に遭うことなく、明るい新年を迎えていただくために、年末年始に特別警戒活動や防犯活動を行うことにしています。

#### ◇防犯はカギかけ

声かけ 心がけ

・お休み前やお出かけ前には、戸締まりの確認をしましょう。

・留守が長くなる時には、隣近所に一声かけてでかけましょう。

・車から離れるときは、必ずキーを抜いてドアロックしましょう。

・自転車やバイクには、防犯登録と記名を行い、駐輪するときは、必ずカギをかけましょう。

#### ◇大切なものは、自分の力でしつかりガード

・自転車、バイクの買い物カ



#### 町内の交通事故

(12月1日現在)

発生件数..... 87件  
(11月..... 8件)  
負傷者数..... 17人  
(11月..... 0人)

もうすぐお正月です。新しい年がはじまります。恒例の忘年会や新年会などでお酒を飲む機会が多くなるこの時期、飲車などを運転する皆さん、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を忘れず安全運転につとめ、家族みんなで明るい年末年始にしましょう。

伊方・町見駐在所

#### ◇みんなの協力で暴力追放

・門松など正月用品などの押し売りは、はっきり拒否しましょう。

・債権取り立てなどを頼まないようにしましょう。  
・暴力を見たり聞いたら、すぐに警察へ届けましょう。

### 愛媛県知事から表彰される 年金委員の田中さん(亀浦)

11月17日、八幡浜市役所で国民年金委員地区別研修大会が開催されました。その席上、年金委員にご協力いただいている亀浦の田中ツル子さんが、愛媛県知事から表彰を受けました。これは、永年にわたり国民



まごころ銀行

川水田にお住まいの小泉久さんより、先頃なくなられたご尊父様のご逝去に伴う香典返しとして30万円、ご寄付いただきました。

町では、早速、まごころ銀行に預託、有意義に活用させていただきますことになりました。紙上から厚くお礼申し上げます。

### 歳時記 たこ揚げ

男の子はたこ揚げ、女の子は羽根つき……お正月の楽しい遊びですね。

ところが、電線や車のために、昔のように道路で遊ぶことができなくなりました。また、原っぱも少なくなったため、近ごろのお正月は、たこ揚げや羽根つきをする子どもが少なくなりました。たこも羽子板も、最近では装飾品として飾られることが多いようです。

お正月にたこ揚げをする習慣は、江戸時代から始まったといわれています。特にお正月の戴入り(16日前後)に、たこ揚げをする習慣があったようです。

たこ揚げの季節は、各地によってさまざま、2月や4月。ところによっては端午の節句の行事とされているところもあります。有名な浜松のたこ揚げは、5月の連休です。たこという名も、いか、いかのぼり、たかなど、地域によっていろいろあります。

日本のたこの種類は、龍などの勇ましい文字を書いた字だこ、武者絵や日の出などを描いた絵だこ、やっこさんの形のやっこだこなど、いろいろです。最近では、日本でも洋風のカイトに人気があります。

お正月は、ついテレビやテレビゲームで遊んでしまい、運動不足になりがちです。昔のように、風の中をたこ糸を持って、思い切り走り回るのもいいですね。

お正月のおせち料理に飽きたころ、学校の子れ給食が懐かしくなるかもしれません。10月24～30日は、「全国学校給食週間」です。子どもたちの体と食習慣を考へ、学校給食は、ますます重要なものとなります。

今年も後残りわずか。皆さん、この1年間を振り返ってどのような出来事がありましたか? 私の1年間の思い出といえば、取材を通して保育所の園児の皆さんからおじいちゃんやおばあちゃんまで、数多くの皆さんと接する機会が持てたということです。

### かわか君

西村 宗



### 人の動き

7,747人 (男3,758人(-2人))  
人口 (-2人) (女3,989人(+0人))

#### えんむすび

平成5年10月1日  
10月31日  
氏名 本籍地

#### お誕生おめでとう

よい子に

育ってください

平成5年10月1日  
10月31日  
保護者 続柄 児名

#### おくやみ

平成5年10月1日  
10月31日  
死亡者 年齢 住所



#### こちら 編集室

取材にご協力していただいた皆さん、大変ありがとうございました。また、街角で出会うと「あの人の前も取材にきた人や」と一瞬かけられるたびに、「あの人が私を覚えてくれたのだなあ。次はどのような紙面にしようかなあ」と考える日々。皆さん、来年もいろいろな話題を提供してください。よろしくお願ひします。私も頑張ります。

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

ふれあい

いかた

教育だより

〔発行〕  
伊方町教育委員会  
〔編集〕  
社会教育課  
〔印刷〕  
豊豫社

晩秋のメロディーラインで健脚競う

伊方体協2部6位入賞

'93 佐田岬メロディーライン駅伝競走大会



伊方体協4区の水沼選手から5区の前田選手へタスキを渡される

「ランナー」君もメロディーラインの風となれ。をキャッチフレーズに十一月二十八日、93佐田岬メロディーライン駅伝競走大会が行われた。

佐田岬広域観光推進協議会主催の同大会には、県外五チームを含む五十一チームの三百余名が参加し、三崎から八幡浜までの六区間四〇・一九七キロで健脚を競いました。

スタート地点の三崎商工会館前では、大会長・中元伊方町長の号砲で一斉にスタート。この日は、晴天に恵まれたものの強風が吹き、選手は悪戦苦闘しながらも力強い走りを見せて、瀬戸内海が展望できる半島の頂上線を走り抜けました。

レースは、愛媛銀行、松山陸協、白杵陸協の昨年上位三チームの争いとなりましたが、四区の伊方町で単独トップに立った愛媛銀行がそのままゴールし初優勝(一部)を飾りました。

二部に出場した地元伊方体協は、全員が安定した走りを見せ、昨年の記録を二分二〇秒縮める二時間二七分四十二秒で堂々の六位入賞を収めました。

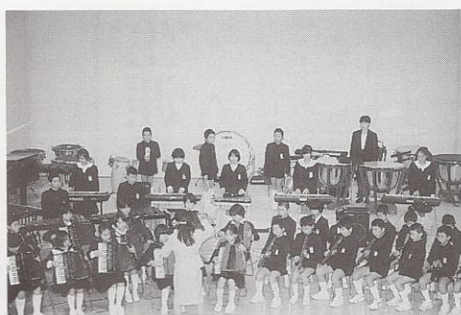
また、高校の部では、八幡浜高校が二位の成績を収めました。本町出身の渡辺隆之君が区間新記録、佐竹大樹君が区間賞という活躍がありました。同大会も国道一九七号線の開通を記念して昭和六十二年に始まり、七回目を迎えたが、佐田岬半島の風物として年々定着してまいりました。

郡内の児童・生徒音楽発表で熱演

十二月二日、第二十五回西宇和郡小中学校音楽発表会が中央公民館で行われ、演奏技能、表現力、鑑賞力を高めました。

同発表会には、郡内十二校が参加し、合唱に続いて合奏吹奏楽と発表が行われ、本町から出場した、伊方小・伊方中・町見中の三校も練習の成果を堂々と発表していました。

最後には、伊方中城戸校長より、各学校ごとの熱演を称えるなど指導講評が行われました。

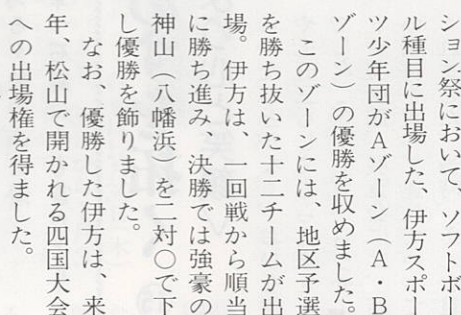


伊方スポーツ少年団県スポレク祭でゾーン優勝

十一月十四日から開催された愛媛スポーツ・レクリエーション祭において、ソフトボール種目に出場した、伊方スポーツ少年団がAゾーン(A・Bゾーン)の優勝を収めました。

このゾーンには、地区予選を勝ち抜いた十二チームが出場。伊方は、一回戦から順当に勝ち進み、決勝では強豪の神山(八幡浜)を二対〇で下し優勝を飾りました。

なお、優勝した伊方は、来年、松山で開かれる四国大会への出場権を得ました。



同和教育シリーズ ⑥1

「これからの同和教育」をどう進めたらよいか——課題

本年は、国際連合が定めた「国際先住民年(世界の先住民のための国際年)」です。

平成五年度の地区別同和教育懇談会は、テーマ「地対財特法の延長を機に、いま同和教育を考へる」で、七月、十月に実施いたしました。

町民のみならずのご理解とご協力によって、一応、所期の目的を達することができました。町民全地区で、延べ一、〇六一人(四〇・五%)の方々に

ご参加をいただきました。映画視聴の後、懇談を行ってまいりましたが、全体をまとめる意味で、今一度振り返ってみたいと思います。

懇談会の席上、いろいろな意見が出ましたが、次のようにまとめられると思います。

近年、教育機関を中心とした同和教育が熱心に行われておりますが、「一人ひとりが人として」を前提に、部落問題を正しく学習するも

のです。この懇談会で、大きく二つの意見が聞かれます。その一つは、「同和教育とは、われわれにとって学習すべきものであり、正しい知識をもって差別をなくすべきだ」であり、あと一つは、「なぜ、わざわざ差別の歴史を教えるのだ。今の子どもたちは知らないのに、それを知ることによって差別が起るかもしれないではないか」という意見なのです。

つまり、前者は同和教育の要諦。後者は、いわゆる「寝た子を起すな」論なのです。出された意見は、前者と後者の半々のようです。

身分制度がなくなってきたから、現実には差別が続いているのは、それまでにきちっとした教育がなされていなかったからなのではないか。

だから今、徹底して同和教育をすべきだという意見。そうして後者ですが、今の子どもは、今までの人にならぬ素晴らしい考え方を身につけています。それは、「一人の人間を個人として認める」見方です。

一人の人間として、その人を見る事ができるのです。それだから、今となつては同和教育は必要ないのではないか。この二つの意見を見ると、大抵の人は前者をとるでしょう。今一度、私たちの日頃の暮らしの中から、人権の尊厳を問い直してみようか。

“花いっぱい” ボランティア活動

二見地区母親クラブでは、ボランティア地域活動として“花いっぱい運動”に取り組んでいます。この度、役場庁舎・公民館等にパンジーや葉ボタンを植えたプランターを設置しました。季節の花は私たちの心をなごませてくれます。



自らを高め、人と人を結ぶ生涯学習

- 自ら学習し生きがいを求める 一人一学習
- 心のふれあいを育成する 一人一活動
- 健康や体力の増進を図る 一人一スポーツ

＜伊方町生涯学習推進目標＞

毎月第2日曜日は「家庭の日」です

1月のテーマ “希望を語り合おう”

〔実践方法〕 ○家族そろって今年の目標をたてたり、新しい年の生活設計について話し合おう

# 大人への旅立ち!

## 一月十五日に成人式

伊方町では、来る一月十五日の「成人の日」に中央公民館において成人式が行われます。

当日は、新成人者を招き、式典や記念行事等を催し、心から祝福を申し上げます。準備を進めておりますので、たくさんのお席をお待ちいたします。

なお、下記名簿は住民基本台帳(十二月十日現在)で調査したもので、このほかに町外から帰って本町の成人式に出席を希望される方は一月七日までに社会教育課までご連絡下さい。



昨年の成人式の様子

# 口碑と立ちばなし

(田之浦) 36

## 竹場兼男翁頌徳碑



竹場兼男翁の頌徳碑は、亀ヶ池の傍に建立されている。頌徳碑の正面には、竹場兼男翁頌徳碑 国務大臣国土庁長官 西田 司書 と、達筆で墨痕あざやかに刻まれている。台座には、次のように碑文が刻まれている。竹場兼男翁は、大正三年五月二十二日、父竹場福治、母ソノの長男として伊方町田之浦に生まれた。幼少より頭脳明晰にして資

性実直の誉れ高く、青雲の志を抱いて上阪、大阪工科大学に学んだ。昭和八年四月、学業を終えたのち、家業の建設業を継ぎ、不撓不屈その地みない努力によって、昭和四十六年四月有限会社竹場建設を創立し、自ら代表取締役就任して、社運の興隆を図り、今日の有限会社竹場建設の基盤を確立した。

翁は、早くから愛郷の念に燃え、昭和二十二年四月、若干三十有余歳にして、公選制初の町見村議会議員に当選、以来村議会議員を二期、続いて昭和三十年三月、町村合併に際しては、合併促進委員会委員として活躍し、同年四月、伊方町発足最初の町議会議員に当選、同時に副議長に就任、以後、昭和三十三年四月には、第二代議会議長として合併直後の山積した諸問題の解決に傾注した。

翁の卓越した識見と手腕は、よく議會を統括し、地方自治の伸展に大なる足跡を残した。昭和四十四年二月、伊方町議会は優良議會として、全国表彰の栄に浴したが、とき恰も翁が第十代議長の時であった。また、この年、原子力発電所誘致の議が起り、物情騒然たるなかで、翁は、日夜腐心を重ね、世論を誘致促進に導いたことは翁の英断によることろ誠に大きく、ひとしく景仰するところである。

翁はまた、地域経済界においても、その活躍は著しく、愛媛県建設業協会八幡浜支部の理事、副支部長、支部長などの要職に就き、管内建設業の発展に尽くす一方、町見農業協同組合理事、専務理事、組合長理事を歴任して農協経営に優れた手腕を発揮し、地域農業の振興に貢献した。ここに、その功績を称え、

### 平成6年 新成人者名簿

大 浜	西山 雅之	岡 田 徳 子	畑 本 純
宮崎 圭 市	飛 田 善 広	登 口 紫 都	山 上 貴 司
河上 由 美	松 本 知 士	豊 之 浦	得 能 留 美
堀内 多 恵	山 下 博 文	坂 田 浩 二	脇 田 香 奈 子
中 之 浜	山 本 徳 一	竹 内 康	西
門 田 和 子	矢 野 一	中 田 隆 洋	高 野 房 美
仁 田 之 浜	田 中 英 行	林 秀 夫	根 来 真 矢
岡 本 誠	守 田 真	山 崎 勝 司	二 見
水 沼 正 則	川 道 さ や か	井 上 敏 美	大 山 朋 則
米 澤 彦 光	佐 々 木 真 美	井 上 亜 紀	中 村 淳
井 上 万 美	清 水 紀 子	井 上 理 奈	加 周
亀 井 紀 亜	水 野 良 子	渡 邊 ま り こ	笹 田 愛
畑 中 順 子	山 本 福 江	竹 内 さ ち	田 之 浦
河 内	小 中 浦	宮 本 賀 代	古 田 真 由
田 邊 忠 義	井 上 貴 志	山 口 千 春	山 岡 幸 恵
湊 浦	清 水 猛	奥	井 上 志 宝
磯 野 礼 治	中 浦	城 岡 法 宣	古 屋 敷
井 上 誠	福 島 敏 宏	兵 頭 美 智 子	上 野 美 香
宇 都 宮 正 明	増 原 巳 和	向	鳥 津
菊 池 健 二 郎	川 永 田	中 川 秀 泰	竹 上 昌 三
久 保 隆 明	鳥 津 豪	浪 下 共 美	中 村 竜 也
久 保 由 紀	阿 部 喜 代	堀 内 ゆ り	大 成
児 玉 勝	岡 元 久 恵	畑	古 田 貴 士
三 宮 敏 裕	松 澤 由 紀 子	得 能 守	塩 崎 元 美
			鳥 津 育 子

12月10日現在、町外者の出席申込み者含む 男40名 女38名 計78名

## 生涯学習であすを拓く

15

十一月に松山市で開かれた県婦人大会の記念講演で、ソプラノ歌手、島田祐子先生が「生涯学習―地域は歌で温かい―」と題して講演がありました。その中で、家庭教育の大切さ、親子のきずなや愛情について話されたので、一部紹介いたします。

私の母は、小さい頃から私に音楽を強要した事がない。家の中には、いつも母の歌声があり、ピアノのふたを開け、いつでも弾けるようにしてくれました。しかし、きれいな服やお菓子など買っても

## 俳句くらぶ

- 年の瀬に國論分かつ米市場
- 年の餅今は昔の影もなし
- 秋深し独居老人夢すがら
- 不機嫌な孫抱き仰ぐ十三夜
- 冬日和佐田ノ岬の頂上に
- 岩室の險しき神も掃き納む
- 姫椿命短きこと哀れ
- 町花なる石路の花咲く町役場
- 茶の花に一句をひろう野良帰り
- 今宵又倉庫に夜なべの灯をともし
- 試歩道や師走のせりを掴みにけり
- 信心を怠けてをりぬ冬日向
- 年の瀬やせめて明るく模様替え
- 潮騒や野菊の道に遭難碑
- 威銃鳴る夕映の山と海
- 天に聳つ石鐘はやも雪だより

- 松田 紋司朗
- 城岡 さかえ
- 二宮 あきえ
- 山口 あさ子
- 渡辺 なみえ
- 菊池 あつ子
- 山田 やよい
- 川崎 やす子
- 山田 みえ子
- 岩井 ふみえ
- 志賀 ともえ
- 榎尾 久恵
- 古田 シヲ
- 小島 キサエ
- 古田 和子
- 岩見 あい子

## 図書室 だより

年の瀬を迎え何かと忙しい日が続きますが、どの家庭でも大掃除をすると思います。その際、不用になった本や、図書室で借りて返

## 1月の行事予定

- 4日 御用始め
- 7日 剣道大会 (伊方武道館)
- 9日 町見壮年会交通茶屋
- 14日 亀ヶ池老人大学 (二見公民館)
- 15日 町成人式 (中央公民館)
- 17日 町新春俳句大会 (中央公民館)
- 23日 町PTA研究大会 (中央公民館)
- 27日 新春講演会(中央公民館)
- 30日 伊方健康マラソン大会 (伊方中スタート) 町見ファミリー健康マラソン大会(町見体育館スタート)